

工業部会通信

発行元：相模原商工会議所
工業部会
編集：かながわ経済新聞
代表：千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL：042（851）3021



JAXA植田氏が講演 近未来技術研究会が企画



宇宙について話す植田氏

「宇宙」を分かりやすく 家族連れも参加、満員に

相模原商工会議所工業部会近未来技術研究会（西澤勇司会長）が主催する「宇宙ではばたこう」というイベントが、4日、市立産業会館で特別公開講演会「宇宙ではばたこう」として開催された。このイベントは、JAXAの植田聡史氏が、「宇宙の近未来」について、誰でも分かるように分かりやすく解説。当日は家族連れの参加者も目立ち、会場はほぼ満員となった。

植田氏によると、地上から1000kmを超えたら「宇宙」としており、国際宇宙ステーションは地上から400kmに位置する。これは相模原から神戸までの距離にあたる。日本も参画している国際宇宙ステーションは、大きさは、競技場と同じサイズ。植田氏は「宇宙開発はこれまで国の機関がやってきたが、民間の会社

植田氏によると、この中に人間が入って暮らしたり、実験したりする装置が詰まっている。また、エンジンやコンピュータなどが入っており、自ら宇宙ステーションにドッキングする。

植田氏は、来場した子どもたちを前に「宇宙ステーションの食事メニューの数は給食のメニューよりも多い。300種類

以上あります。宇宙食は各国が出し合っています」と説明。子どもたちは興味津々な様子で聞いていた。

また、宇宙ステーション内の生活についても「宇宙空間用の服ではなく、地上と同じ服を着ています。宇宙ステーションにはお風呂がなく、ポディッシュン入り入りのタオルで洗います」と話した。さらに、「排泄物は掃除機のようなもので吸いこみます。宇宙では骨や筋肉が弱くならないように、宇宙飛行士は毎日2時間の運動をします」と、実際の様子をリアルに語った。

ロケットや人工衛星の役割についても触れた。植田氏は「ロケットはトラックと同じ。宇宙に荷物や乗客を運ぶ輸送手段です。これまで打ち上げた人工衛星の数は6000個以上。人工衛星は外部を金色にすることに

よって熱を遮断しています。気象衛星をはじめ、通信・放送衛星などを目的とする人工衛星、地球観測衛星など、さまざまな種類があります」と解説。来場者は初めて聞く宇宙についての具体的な話に、熱心に耳を傾けていた。

工業部会GETプロジェクト（早川正彦委員長）は、3月25日の午後6時半〜同8時までの「ものづくり企業のための医療産業参入のポイント」と題した経営セミナーを開く。場所は

市立産業会館・国際商談室。講師には関東経済産業局・ヘルスケア産業室の職員を招く。

①医療市場参入に必要な知識や条件・規格について②成功するためのノウハウ③行政の参入支援策（医工連携商談会や展

示会支援）④中小製造業の参入事例などを解説する。

参加無料。申し込み、問い合わせは産業振興課・高井042（753）8136まで。

25日にセミナー GET プロ

医療機器の新拠点稼働 産学連携、R&D推進

マーク電子（緑区）は「R&Dイノベーションセンター」を完成、本格稼働させた。医療機器や放射線測定器などを同センターで開発。大手メーカーに対して、OEM（相手先ブランドによる生産）供給する。

マーク電子

県央地域では珍しく生産機能を兼ね備えた医療機器分野の本格的R&D拠点。東京大学や北里大学などの産学連携も加速させる。

同社は試作・開発から量産までをカバーする企業。米リーマンショックを機に、付加価値の高い

医療機器分野にシフト。2009年には医療機器の品質管理システムに関する国際規格「ISO13485」を取得したほか、翌年には県から医療機器製造許可も受けている。

今回完成した新棟は、同市緑区橋本台1丁目、



完成したR&Dの新施設

本社の近隣に立地。建設にあたっては、県の企業誘致策「インベスト神奈川セカンドステップ」3階建て。同社の研究

開発部門を集約した。1階には、製品開発や品質保証などに活用する環境試験設備の専用エリアを設けた。また、リラックスした空間で社員がアイデアを生みやすくなる環境を整えた「イマジネーションルーム」も置いた。

一方、2階は生産ライン、3階は3Dプリンターを完備した設計開発機能になっている。同社の小山正信社長は「当社がこれまで歩んできた道のりの集大成とはいえず、これからの事業の中核をなす施設となっている」と話した。

（記事提供・かながわ経済新聞）

職人がいい、施工がいい、住む人がいい。
そこに良いまちが生まれる。

まちづくりの職人 久野新一

創業96年

株式会社
トータルハウジング久野

〒252-0246 神奈川県相模原市中央区水郷田名 2-11-26 TEL 042-762-0096 FAX 042-760-0078
フリーダイヤル 0120-61-0096 URL <http://www.t-h-kuno.co.jp/>

